




長野県工業技術総合センター（工技センター）の支援

技術相談 （無料）	企業の技術課題に対し、来所・メール・電話・オンライン・現場訪問等による相談助言を行います。 https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/gijutsusodan.html	
依頼試験 （有料）	企業からの依頼により測定、分析、評価等の試験を行い、必要に応じ成績書を発行します。 https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/iraishiken.html	
施設利用 （有料）	工技センターの測定・分析機器等の一部を利用できます。 https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/hoyusetsubi.html	

共同研究制度

制度名	内 容	研究期間	受付機関	費用
共同研究	地域産業の技術課題を解決するため、工技センターが企業等と共同で研究し、成果は原則公表します。	契約に基づく期間	工技センターの各部門 （次ページ参照）	企業等と工技センターがそれぞれ研究費を負担

課題解決共同研究制度（受託研究制度）

制度名	内 容	研究期間	受付機関	費用
課題解決共同研究 （受託研究）	企業の技術課題を解決するための研究を、工技センターが受託します。	契約に基づく期間 （年度内）	工技センターの各部門 （次ページ参照）	委託企業が研究費を負担

AI・DXオープンイノベーション促進事業

制度名	内 容	対象者	受付機関	費用
AI・DXオープンイノベーション共同研究	企業等のDXに係る課題からモデルプロジェクトを探索・選定し、データの収集及び共同研究により課題解決を支援します。	長野県内に事業所を有する中小企業等	工技センター 環境・情報技術部門 情報システム部 （次ページ参照）	企業等と工技センターがそれぞれ研究費を負担（工技センターの研究費は企業等の研究費を超えないものとする）

カーボン排出量可視化・削減支援事業

制度名	内 容	対象者	受付機関	費用
カーボン排出量の可視化支援	カーボン排出量の算定(Scope1,2,3)に関する説明会を開催します。また、カーボン排出量を算定する際に、専門家が相談に応じます。	長野県内に事業所を有する中小企業等	工技センター 環境・情報技術部門 環境技術部 （次ページ参照）	無料
カーボン排出量の削減支援	中小企業等がカーボン排出量の削減に取り組む際に、専門家や工技センター職員等が、測定による現状把握や改善提案で削減を支援します。			有料

研究員派遣制度

制度名	内 容	研究期間	受付機関	費用
研究員派遣 技術開発支援	企業からの要請に基づき、研究職員を企業の現場に派遣し、共同で製品化や評価技術の確立を支援します。	2人・日以上 50人・日未満	工技センターの各部門 （次ページ参照）	1人/日につき11,000円 （旅費は、長野県が負担）

地域資源製品開発支援センター事業（デザサポながの）

制度名	内 容	対象者	受付機関	費用
新製品開発 推進事業	中小企業等が、地域資源を活用した製品開発を行う際、専門家及び工技センター職員によるプロジェクトチームが、新製品の開発を支援します。	中小企業者及び任意グループ（中小企業者数が1/2以上を占めるグループ）	工技センター 環境・情報技術部門 地域資源製品開発支援センター （次ページ参照）	企業負担 1日あたり40,000円の2/3（約27,000円）、残り1/3及び旅費は長野県が負担）

各部門の紹介 【総合窓口】技術連携部門：☎026-268-0602 gijuren@pref.nagano.lg.jp

材料技術部門（長野市）

☎026-226-2812 kogyoshiken@pref.nagano.lg.jp

部	内 容	部	内 容
材料化学部 ☎026-226-2005	○セラミックスの原料調製・焼結技術 ○プラスチックの複合化技術、バイオプラスチック利用技術 ○工業材料の化学分析・物性評価技術 ○耐食性評価・防食技術	設計支援部 ☎026-226-2106	○3D設計・解析・計測、DfAM ○CAE（構造・熱流体・樹脂流動・振動・最適設計）による設計・検証 ○接触・非接触形状計測・評価、リバースエンジニアリング
金属材料部 ☎026-226-2012	○粉末プロセス技術（金属3D造形、新合金設計・創成技術） ○材料物性評価（結晶構造解析、定性分析、強度測定、電磁気特性評価） ○金属材料技術（熱処理、表面改質、金属・異材接合）	製品科学部 ☎026-226-2107	○製品性能評価（温度・熱、音・振動、強度、人への影響） ○耐環境性評価（振動・衝撃試験、温度・湿度試験）

精密・電子技術部門（岡谷市）

☎0266-23-4000 seimitsushiken@pref.nagano.lg.jp

部	内 容	部	内 容
測定部 ☎0266-23-4051	○寸法・形状測定、三次元測定、ねじ・歯車測定 ○光学及び応用計測、測定器精度測定 ○振動・騒音測定、振動・衝撃試験 ○非破壊試験	化学部 ☎0266-23-4053	○化学分析・機器分析、表面分析技術 ○表面処理技術、物理化学試験 ○工業材料利用技術
加工部 ☎0266-23-4052	○精密加工技術、加工特性評価、加工状態の可視化 ○金属組織試験 ○CAE技術 ○材料強度試験	電子部 ☎0266-23-4054	○電気標準の供給、電気計測器の校正試験 ○電磁雑音試験、高周波測定評価 ○電子機器の特性・安全性試験 ○電子部品・電子材料の特性試験、環境試験

環境・情報技術部門（松本市）

☎0263-25-0790 kankyojoho@pref.nagano.lg.jp

部	内 容	部等	内 容
情報システム部 ☎0263-25-0778	○システム化（生産システム・ロボット制御） ○AI・IoT、ネットワーク	人間生活科学部 ☎0263-25-0981	○人間生活工学（人体動作計測・解析、医療福祉機器試作、樹脂3D積層造形） ○耐環境性評価
環境技術部 ☎0263-25-0997	○脱炭素製造技術 ○低環境負荷生産技術 ○環境適合製品設計技術	地域資源製品開発支援センター ☎0263-25-0982	○地域資源を活用した製品開発、デザイン等の支援

食品技術部門（長野市）

☎026-227-3131 shokuhinshiken@pref.nagano.lg.jp

部	内 容	部	内 容
食品バイオ部 ☎026-227-3132	○発酵食品（日本酒、ワイン、焼酎、味噌、醤油、甘酒、クラフトビール等）の製造技術に関する試験研究及び支援 ○酵母、麹菌、乳酸菌の選抜・育種・利用、酵素、バイオテクノロジーの利用に関する試験研究及び支援	加工食品部 ☎026-227-3134	○加工食品（果実・野菜等の缶・びん詰、清涼飲料水、漬物、凍豆腐、そば、菓子、パン、乾燥食品、アイスクリーム等）の製造、開発、品質管理技術及び試作加工 ○資源有効利用技術 ○食品の栄養・機能性、おいしさ、安全性評価

長野県創業支援センターの紹介

※研究開発室に空きが生じる都度、新たな利用者を募集します。

概要	研究開発室	問い合わせ先
長野県創業支援センター（長野市）	鉄骨造（2階建） 4室（70㎡）、2室（60㎡）、4室（50㎡）	☎026-268-1456 naganosogyoshien@pref.nagano.lg.jp
岡谷センター（岡谷市）	鉄骨造（2階建） 10室（60㎡）	☎0266-24-3111 okayasogyoshien@pref.nagano.lg.jp
松本センター（松本市）	鉄骨造（管理棟2階） 5室（32㎡）	☎0263-26-3378 matsumotosogyoshien@pref.nagano.lg.jp

ラボ（技術・研究開発支援拠点）の紹介

3D デジタル生産技術を使った設計、試作、評価を一貫して支援する開発支援拠点(長野市)です。

3D デジタル生産技術共同研究棟に、設計、試作及び各種評価装置を整備し、医療機器をはじめとした県内製造業の製品開発力向上をお手伝いします。

産業支援機関との連携によりビジネスモデルの検討から事業化まで総合的に支援を行います。

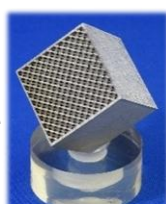
3Dラボ

3Dデジタル生産技術実装化研究拠点

材料技術部門



金属積層造形装置



微細な格子構造の造形例



内部形状を最適化して伝熱特性を改善した例

導入設備利用事例

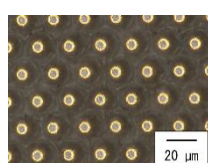
5G/ポスト 5G に対応した次世代電子部品・電子モジュールに係る総合的な開発支援拠点(岡谷市)です。

次世代電子機器を創出するための地域共同開発環境を整備し、電子材料評価、配線技術、モジュール性能評価など幅広い要素技術でハードウェア産業を支援します。試験機器のリモート利用を実現するバーチャル公設試システムを導入しています。

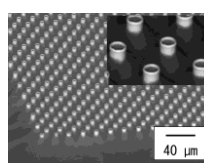
5Gラボ

次世代高速通信モジュール評価試験拠点

精密・電子技術部門



企業との共同開発品（半導体用検査プローブ）



極表面複合分析装置



企業との共同開発品（RF スプリングコンタクト）

導入設備利用事例

DX,GX,LX による新しい価値の創出を推進するため、産学官連携を通じ、センターの総合力を発揮します。

X1ハブ
技術連携支援

技術連携部門



X1:カヌイバ ーショ

研究開発事例



長野県工業技術総合センター



センターAI キット

商品化支援事例

人・犬両用アイス



長野酵母利用清酒



機能性成分含有ジュース



Foodラボ

しあわせ信州食品開発センター
機能性食品等開発拠点

食品技術部門

生産現場における AI や IoT の利活用等の支援をする開発支援拠点(松本市)です。

研究会活動を通じた生産現場への AI・IoT 技術の普及・啓発、県内企業との実証研究プロジェクトによる生産活動の DX 化の推進、工場の省エネ化支援等により、県内企業の競争力向上をお手伝いします。

DXラボ

AI活用/IoTデバイス事業化・開発センター


環境・情報技術部門

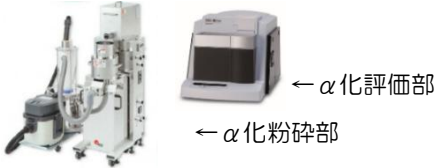
長野県の強みである発酵・加工食品や健康長寿の特性を活かし、新たな高付加価値食品の開発とブランド力向上を支援する拠点(長野市)です。

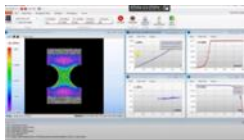
食品の研究開発・商品開発における産学官連携の中心として、試作加工や評価機能を充実させ、機能性食品など「からだに優しい食品」の創出に向けて、研究開発および商品開発を支援します。

新規導入設備 (R7年度)

名 称	材料熱物性測定装置
メーカー名	NETZSCH Japan 株式会社
型 式	TG-DTA : STA 2500 Regulus DSC : DSC300 Caliris Classic TMA : TMA402 F3 Hyperion
機 能・ 用 途	各種材料の温度を変化させた際の物理的な変化(重量、吸/発熱量、長さ等)を測定する装置です。プラスチックや金属、セラミックス等の熱分解温度、融点、ガラス転移温度、熱膨張係数等を求めることができます。
仕 様	○温度範囲：室温～1600℃ (TG-DTA) -170℃～600℃ (DSC) -120℃～1000℃ (TMA) ○分 解 能：0.03 μ g (TG-DTA) 0.125nm (TMA)
利用形態	依頼試験、共同研究、受託研究
担 当 部	材料技術部門 材料化学部
装置外観	 (公財)JKA 機械設備拡充補助事業 https://www.jka-cycle.jp/

名 称	AE アナライザー
メーカー名	株式会社エヌエフ回路設計ブロック
型 式	AE9702
機 能・ 用 途	AE センサからの AE 信号を増幅・フィルタリングして PC へ転送し、リアルタイム波形表示、STFT (短時間フーリエ変換) 表示、特徴量の抽出や位置標定などが可能です。 AE 信号から加工状態の把握や異常検知ができます。
仕 様	○時間分解能 最大 4MS/s ○2 チャネル同時入力 出力結果：AE 生波形 (CSV)、STFT 解析 (PNG)、特徴量の抽出 (CSV)
利用形態	依頼試験、施設利用、共同研究、受託研究
担 当 部	精密・電子技術部門 加工部
装置外観	 (公財)JKA 機械設備拡充補助事業 https://www.jka-cycle.jp/

名 称	穀物粉碎アルファ化支援装置
メーカー名	有限会社ウェスト、株式会社島津製作所
型 式	<粉碎部>GTA、<評価部>DSC-60plus
機 能・ 用 途	本装置は、加熱した臼で穀類を粉碎することで含有する澱粉を α 化する α 化粉碎部と、 α 化度を評価する機器から構成されます。 α 化による粘性やその他の特性の変化を利用したプラントベース食品や、介護食、アレルギーフリー食品などの開発に活用できます。
仕 様	< α 化粉碎部> 設定温度範囲：室温～200℃、処理能力：1～2kg/時間 (臼を冷やしながらの粉碎も可能) < α 化評価部> 熱流量検出範囲： ± 150 mW、雰囲気ガス：窒素、○冷却方法：電気式
利用形態	施設利用、共同研究、受託研究
担 当 部	食品技術部門 食品バイオ部
装置外観	 ← α 化評価部 ← α 化粉碎部

名 称	デジタル画像相関法 (DIC) ソフトウェア
メーカー名	MatchID 社 (ベルギー)
型 式	MatchID 2D
機 能・ 用 途	材料表面の 2 次元画像からデジタル画像相関法 (DIC) を用いて、変形やひずみを高精度・非接触で計測できる解析ソフトウェアです。 各種加工による材料変形や、構造物の力学的挙動の評価に活用できます。
仕 様	計測対象：スプレー等でランダムパターンを付与した材料表面 入力形式：jpg、png、tiff 等 出力結果：ひずみ、応力、変位等 計測精度：画像の解像度や撮影条件による
利用形態	依頼試験、施設利用、共同研究、受託研究
担 当 部	精密・電子技術部門 加工部
装置外観	 解析例 (公財)天田財団補助事業 https://www.amada-f.or.jp/prog